

分別収集の徹底でごみを減量

ごみ処理施設を視察

三月四日、各町内の廃棄物減量等推進員が参加し、ごみ処理施設の視察が行われました。

これは、推進員の皆さんに「ごみの排出状況を把握していただき、地域のかたがたへ分別収集の徹底を呼びかけ、廃棄物の減量に努めていただくために実施されたもので、当日は、資源の中間処理施設と岐阜羽島衛生施設組合を訪れ、それぞれの担当者から資源やごみを出す際の注意事項や、現在の処理状況などの説明を受けました。

推進員の皆さんは「プラスチ

ック製容器包装としてリサイクルできないものはどのようなものですか」、「焼却する際に出る排ガスは、周りの環境に影響はないですか」など、積極的に質問されました。

参加者の一人は、「きちんと分別されていないごみがまだまだ多いことが分かりました。また、それらの処理にすくく手間がかかることにも驚きました。今日分かったことを色々な場で、地元のかたに伝えてごみ減量に努めていきたいです」と語られました。



資源の中間処理施設で担当者からビンの出し方について説明を受ける参加者たち

資源の中間処理施設からお願い

ビンとペットボトルはキャップとラベルが付いているものや、プラスチック製容器包装では、汚れたままのものがまだまだ多くあります。これらは、資源として再利用できず全て「ごみ」として処分されてしまいます。必ずキャップとラベルをはずし汚れているものは洗って出してください。

岐阜羽島衛生施設組合からお願い

ビニールひもやロープ、ネット類など長いごみを丸めてそのまま出されると、焼却炉に入れるまでの間に機械に絡まり、作業に支障をきたします。長いものは必ず30センチメートル以下の長さに切ってから出してください。また木の枝も同じで、必ず切ってから袋に入れて出してください。なお、木の幹など太さが3センチメートル以上のものは町の「燃える大型ごみ」に出してください。

三世代囲碁・将棋大会

町・町老人クラブ連合会共催の「三世代囲碁・将棋大会」が2月22日、福祉会館で行われました。

当日は、囲碁・将棋の愛好者60人が参加し、将棋の部では小学生の少年棋士が大人に混じり大奮戦。熱の入った対局が繰り上げられました。成績は、次のとおりです。(敬称略)

将棋の部

A級の部

優勝 伊藤 数彦(柳原町)
準優勝 丹下 嘉治(朝日町)
3位 堀 龍三(大池町)

B級の部

優勝 山本 正富(米野)
準優勝 山川寿太郎(門前町)
3位 島根 次郎(友楽町)



囲碁の部

A級の部

優勝 山田 定夫(長池)
準優勝 丹下 雅夫(西町)
3位 松山 良一(円城寺)

B級の部

優勝 奥村 三郎(弥生町)
準優勝 森 智(米野)
3位 尾藤富士雄

(美笠通2丁目)

C級の部

優勝 山田 恒治(東宮町)
準優勝 石田 政男(北及)
3位 則武 昭二(東陽町)



一手一手が真剣勝負!!

